

# 未来の南砺市のために みんなのできる取り組み

2030年を見据えて今できることを考えよう

身近なことから  
やってみよう!



## 家の中でできること

- 家事や子育ての分担について話し合おう
- 水を出しっぱなしにしないようにしましょう
- トイレの水を流すときは大小のレバーを使い分けよう
- 日頃から節電を心がけよう
- 太陽光や木質資源などの再生可能エネルギーを活用しよう
- 食べ残しや作り過ぎを減らし、食品ロスをなくそう



## 家の外でできること

- 地元の農産物を購入しよう
- 健康診断や予防接種を受けよう
- 鉄道やバスなど、公共交通機関で移動しよう
- プラスチック製品の使用を控えよう
- マイバックを使おう
- 資源回収を実施しよう



## 職場・学校でできること

- 貧困の現状や原因について学ぼう
- 働き方改革を実践しよう
- 友だちや同僚と仲良くしよう
- 開発途上国への支援について学ぼう
- 新しい技術について調べよう
- 世界でどんなことが起きているか調べよう



## 地域でできること

- 地域社会で学ぶ機会を増やそう
- お互いを認め、相手を大切にする気持ちを持とう
- 差別的な慣行をなくそう
- 災害時などに助け合えるよう、住民間の絆を深めよう
- 子ども会や自治会活動などに参加してみよう
- SDGsの達成に向けたイベントなどに、積極的に参加しよう



# エスディー・ジーズ SDGs って?

サステナブル ディベロップメント ゴールズ  
Sustainable Development Goals  
持続可能な開発目標

SDGsを理解して  
できることから  
始めてみよう!



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



### SDGsとは

SDGsは、2030年までに達成すべき世界共通の目標として、2015年に国連で採択されました。「世界中の誰一人取り残さない」をキーワードとし、貧困、福祉、教育、人権、環境など、様々な分野の目標が設定されています。

「世界の話で私たちには関係ない」と思われるかもしれませんが、17個の目標の中には私たちの生活と密接に関係しているものが多くあります。

お問合せ

南砺市エコビレッジ推進課

TEL 0763-23-2050

E-mail ecovillageka@city.nanto.lg.jp



# 持続可能な開発って どういう意味?



持続可能な開発とは、「今」のことだけでなく、「未来」の人や環境のことを考えて行動し、これからの発展につなげることを意味します。例えば、みんなの財産であるきれいな山や川などの自然環境を守ること、限りある資源を大切に使うこと、昔から伝わる伝統や文化を次世代に引き継ぐことなどは、持続可能な開発に結びつく取り組みのひとつと言えます。

## なぜ南砺市でSDGsが必要な?

南砺市では、年齢や性別、障がいの有無などに関係なく、すべての人が幸せを感じ、安心して暮らせる地域の実現を目指しています。このような地域を実現するためには、「誰一人取り残さない」というキーワードを掲げ、幅広い分野の目標を設定しているSDGsの理念をまちづくりに取り入れる必要があります。

### 南砺市は2019年度にSDGs未来都市に選定されました



SDGs  
未来都市  
とは?

SDGsを達成するための優れた取り組みを提案し、国（内閣府）から選定された自治体のことです。2019年度は全国で31の自治体が選定されました。



南砺市では、小規模多機能自治の導入や南砺幸せ未来基金の設立、再生可能エネルギーの活用など、従来から持続可能なまちづくりに取り組んできました。これらの取り組みが評価され、2019年7月にSDGs未来都市に選定されました。これを機に、SDGsの理念を取り入れ、経済・社会・環境の3側面の調和がとれた持続可能なまちづくりを今後も推進していきます。



# 南砺市での SDGs達成に向けた取り組み



## 文化と教育の連携(文化芸術創造都市) 「南砺の土徳文化、支え合いのまちづくり」

「土徳」は「もったいない」と「おかげさま」の言葉が象徴する、支えあう暮らしを表す考え方です。懐かしくて新しい暮らし方の提案であるエコビレッジ住宅ゾーンの整備や、オーガニック農業に取り組みます。



## 住民自治の再構築「小規模多機能自治」

地域ごとに異なる課題を地域自らが解決し、持続可能な地域づくりを進める基盤を整備するため、住民参加による自治組織の形成を推進します。



地域づくり協議会での取り組み例

## コミュニティファンドの創出 「南砺幸せ未来基金」

今後のエコビレッジ関連事業等の活動資金やノウハウ、人的ネットワークなどを支援し、南砺市全体の自立循環の姿を次世代につなぐため、住民や行政、地元金融機関等が協働で実装を進めて、地域課題を一つ一つ確実に解決していく基盤として育成していきます。

## 森林資源エコシステム構築事業

高品質な森林資源は木材家具の製作にあて、低品質材はペレットや薪に加工して活用するなど、原材料に応じた最適な利用方法促進に貢献します。

エコシステムの構築を契機に、林業の再生を図るとともに山林の荒廃を改善し、さらなる森林資源の創出と新規就労の場を生み出し、市内での地産地消の経済循環を促進します。



## 森里川海の連携 「マイクロプラスチック、海洋汚染抑制」

マイクロプラスチック等による海洋汚染問題について、森里川海の連携により上流である南砺市及び富山県西部5市で構成する富山県呉西6市連携協議会が合同で、海洋ごみ問題対策として地域のごみ発生抑制について検討を行います。

また、プラスチックごみの河川流入を防ぐための方法について、連携する富山県立大学の知見を施策に反映し、効果測定を行うことでPDCAサイクルを回し海洋汚染対策に取り組んでいきます。

